資料２

令和5年12月25日(月)

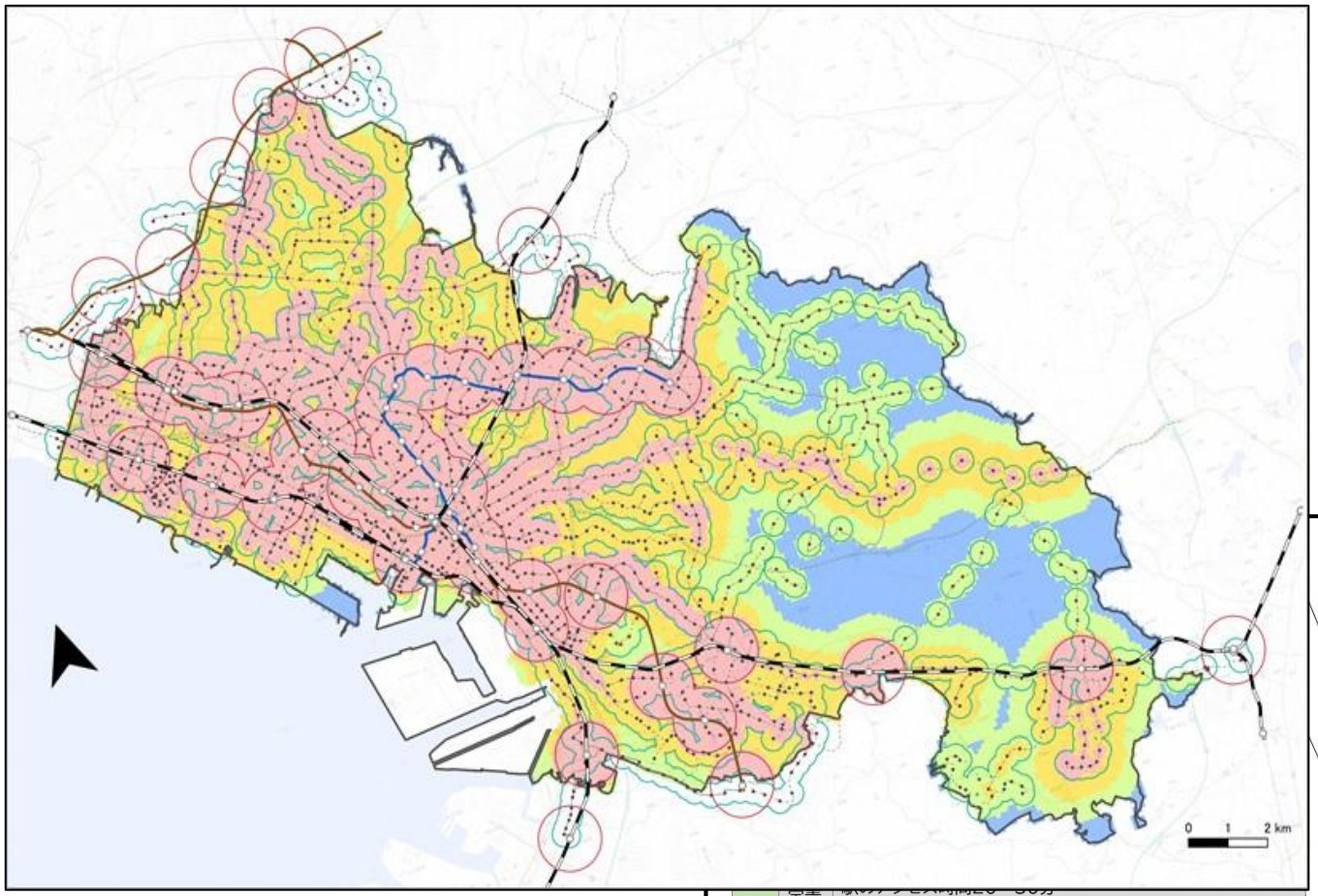
新たな地域公共交通導入に向けた社会実験について

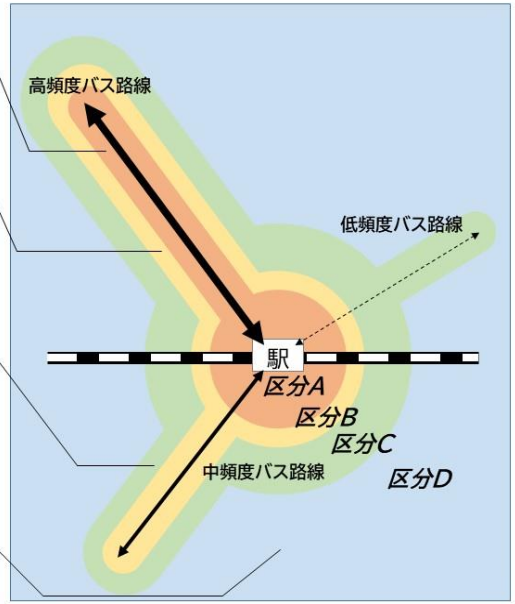
【目次】

１　これまでの検討経緯について
２　運行概要について
３　利用状況について
４　高津戸乗合タクシーの今後について

1　これまでの検討経緯について

○エリア区分

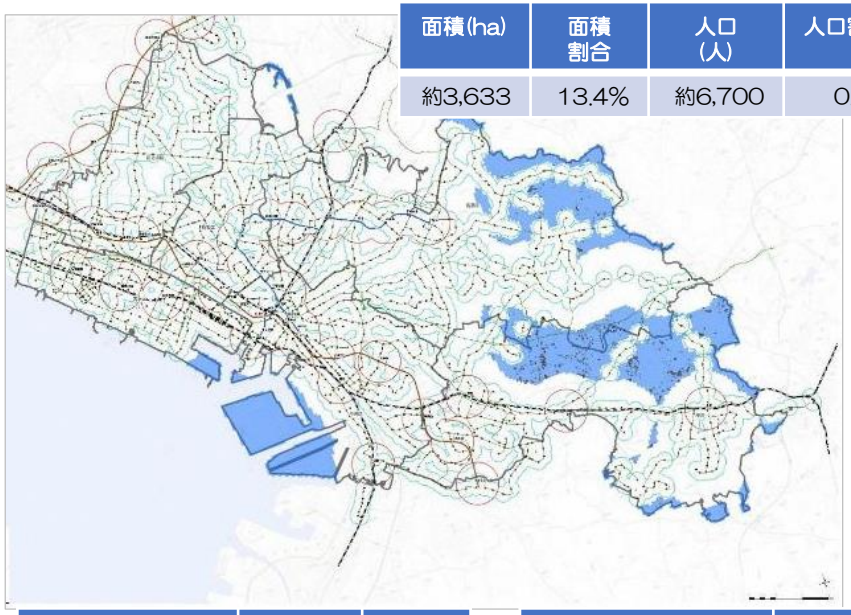




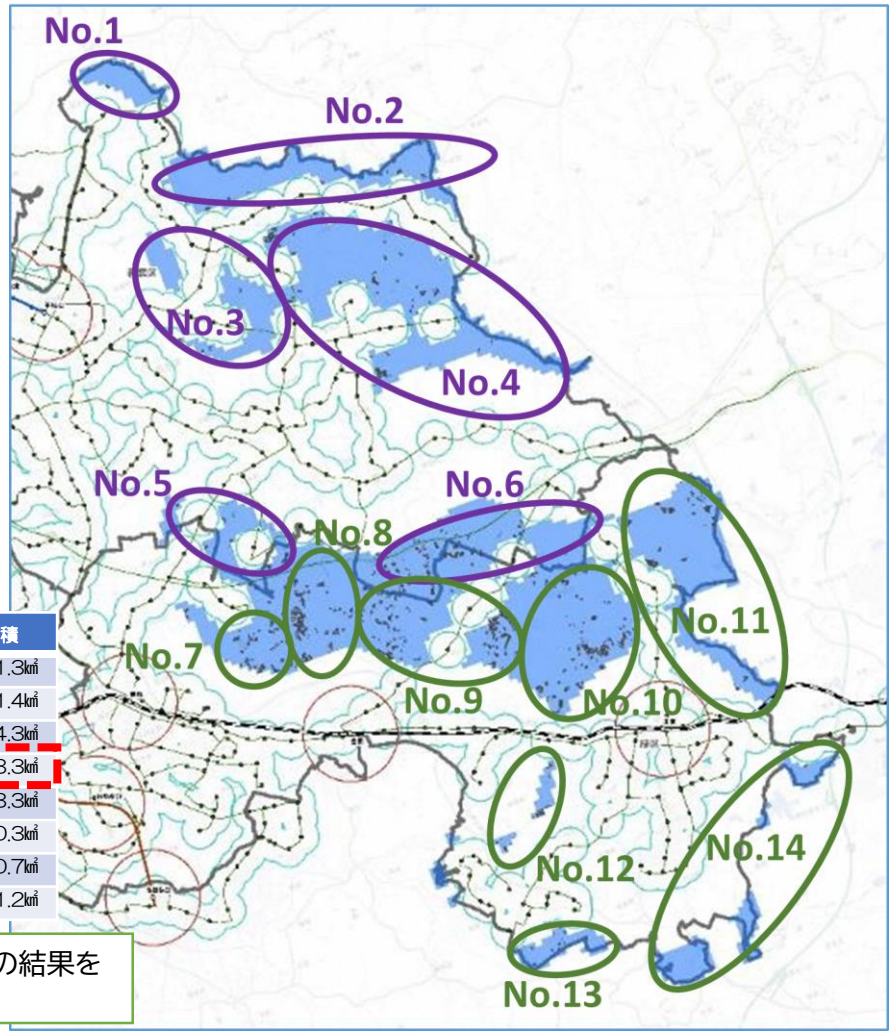
区分	定義	駅・バス停のアクセス時間が30分以上
D	駅、バス停どちらもアクセスが困難な地域（区分A～Cのいずれにも当てはまらない）	

◆公共交通不便地域における実態調査等実施地域の選定

○区分Dの地域の実態や問題点・課題をより詳細に把握するため、ワークショップ等を実施。
○区分Dを14グループに分割し、各エリアの状況を基にワークショップ等を実施すべきモデル候補地を選定した。



面積(ha)	面積割合	人口(人)	人口割合
約3,633	13.4%	約6,700	0.7%



	人口（人）	面積（㎢）
No.1（旦谷町等）	約10人	約0.6㎢
No.2（小間子町等）	約80人	約2.5㎢
No.3（御殿町等）	約70人	約1.3㎢
No.4（富田町等）	約340人	約5.1㎢
No.5（佐和町等）	約120人	約0.8㎢
No.6（野呂町等）	約580人	約2.7㎢

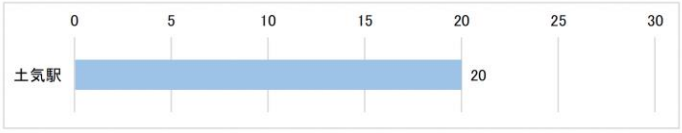
	人口	面積
No.7（平山町等）	約760人	約1.3㎢
No.8（高田町）	約870人	約1.4㎢
No.9（平川町等）	約1,400人	約4.3㎢
No.10（高津戸町等）	約1,600人	約3.3㎢
No.11（下大和田町等）	約300人	約3.3㎢
No.12（越智町）	約350人	約0.3㎢
No.13（大木戸町等）	約200人	約0.7㎢
No.14（小食土町等）	約20人	約1.2㎢

今後、区分Dでは、一定程度の居住規模の地域を対象とした調査を実施し、その結果を基に区分Dにおけるモデルとして施策を検討する。

地域概況及び公共交通の現状（No.10　緑区（高津戸町北部等））

①地域の概要

地域概要	・JR 外房線土気駅の北部、緑区と若葉区の境の丘陵地に位置する。 ・丘陵地のため、駅近傍以外は幹線道路を中心に人口が分散して立地。 ・土気駅、誉田駅から路線バスが地区内に運行しているが、運行本数は少ない。
人口の状況	・人口総数：約 1,600 人　・65 歳以上人口数：約 560 人　・65 歳以上人口比率：約 35.0% ・面積：3.3km2　・可住地面積：1.3km2　・可住地の人口密度：約 1,215 人/km2
最寄り駅	・駅名：JR 土気駅　・地域からの距離：概ね 2～3km ・地域住民の主な利用駅　→アンケート結果より JR 土気駅の利用が多く見受けられる。



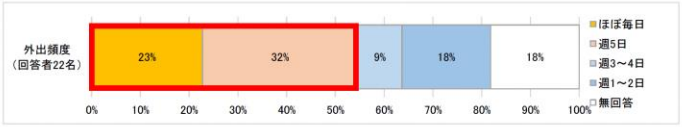
②周辺の路線バスの運行状況

運行本数	・当地域の周辺を運行するバスは、土気駅、誉田駅と地域を結ぶ千葉中線となる。 ・誉田駅方面は運行本数が極めて少なく、土気駅方面は 1 時間 1 本弱の運行となる。

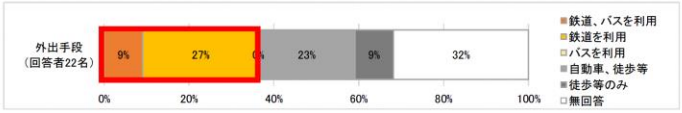
路線名	事業者	方面	行き先	朝 6～8時台	午前中 9～11時台	午後 12～15時台	夕方 16～17時台	夜 18時台～	計
千葉中線	千葉中央バス	地域方面	大椎台団地	2	0	2	1	0	5
		駅方面	誉田駅北口	1	0	1	1	0	3
千葉中線	千葉中央バス	地域方面	千葉中	1	0	3	1	2	7
		駅方面	大椎台団地	3	0	3	2	2	10

③外出の状況、公共交通の利用状況、満足度（アンケート結果）

外出頻度	・回答者の 5 割以上の方が、週に 5 日以上外出している。



外出手段	・回答者の 4 割程度の方が、鉄道やバスを選択している。

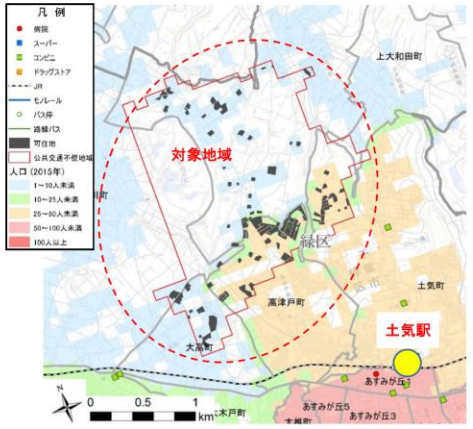


満足度	・鉄道以外は不満・やや不満が満足・やや満足を上回っている。

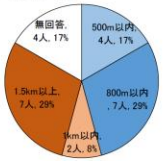
	鉄道	路線バス	タクシー	公共交通全体
満足・やや満足	50%	14%	5%	14%
不満・やや不満	27%	55%	55%	36%

④人口分布、施設分布、周辺の路線バス網

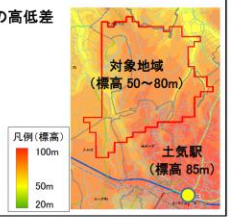
人口分布等	・地域全域に人口が薄く分散している。駅周辺と比較すると人口密度が少ない。 ・JR 土気駅周辺に買い物（コンビニ、スーパー等）施設が立地、地域周辺に医療施設も立地。



アンケート回答者の最寄り駅までの徒歩時間



地域の高低差



⑤主な移動の目的地（アンケート結果）

主な移動の目的地	・普段の買い物は最寄り鉄道駅近傍、その他の目的地は鉄道でアクセス可能な場所が多い。

	対象地域内の施設	対象地域外の施設	
		JR 土気駅周辺の施設	鉄道でアクセス可能な施設
普段の買い物	なし	13 件（カスミ など）	なし
その他の買い物	なし	3 件（しまむら　など）	4 件（イオン鎌取店 など）
通院・介護等	なし	5 件（篠崎医院　など）	6 件（市立青葉病院など）

ワークショップ等実施モデル候補地としての設定（案）

設定における指標	数値	分類	候補地評価
①人口総数	約 1,600 人	上位 3 位以内	評価：A
②65 歳以上人口数	約 560 人	上位 3 位以内	評価：A
③可住地の人口密度	約 1,215 人/km2	上位 3 位以内	評価：A
④最寄り駅までの距離	概ね 2～3km	3km 以内	評価：A

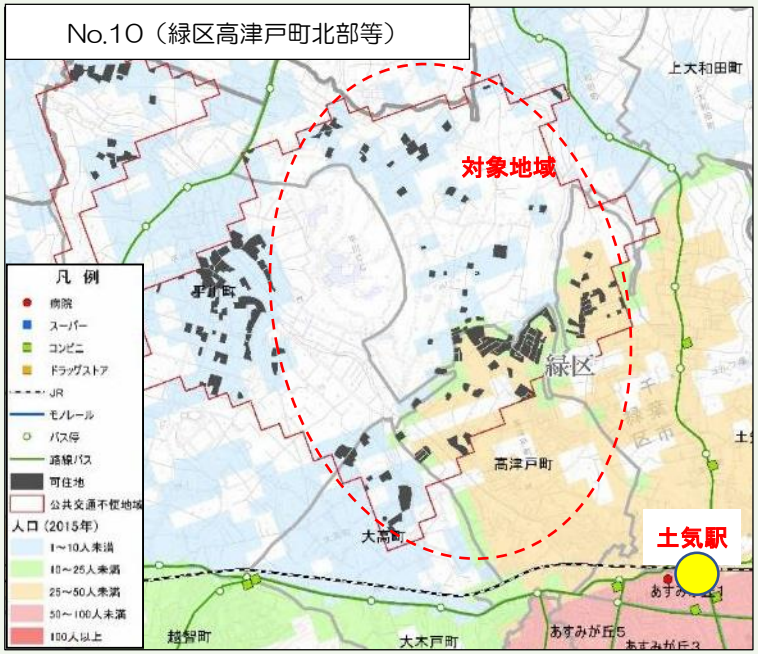
候補地評価の設定（案）	総合評価 A	人口総数、65 歳以上人口数ともに多く、目的地となる駅までの距離も近いことから、市内の公共交通不便地域（14 地区）の中では評価が最も高く、モデル候補地として設定する。

モデル候補地としての設定に向けた指標分類の考え方
→評価 A が 4 つで総合評価 A、評価 A が 2～3 つで総合評価 B、
それ以外を総合評価 C とする

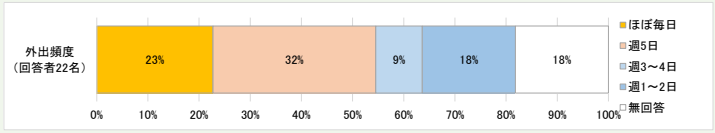
①人口総数、②65 歳以上人口数、③可住地の人口密度	上位 3 位以内 評価 A	4～7 位の地域 評価 B	8 位以下の地域 評価 C
④最寄り駅までの距離	3km 以内 評価 A	3～5km 評価 B	5km 以上 評価 C

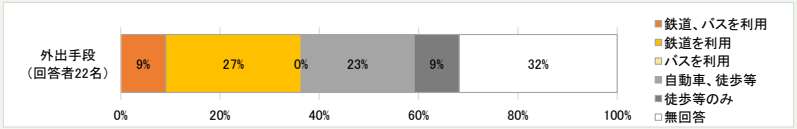
◆No.10（緑区高津戸町北部等）

○対象エリアの人口規模（エリア内の人口総数、65歳以上の人口など）及び最寄りの鉄軌道駅までの距離の視点から、地域の実態を把握するためのワークショップ等を実施する候補地をNo.10（緑区高津戸町北部等）とする。



人口	高齢者人口	可住地の人口密度	土気駅までの距離
約1,600人	約550人	約1,215人/㎢	約2.1km





	鉄道	路線バス	タクシー	公共交通全体
満足・やや満足	50%	14%	5%	14%
不満・やや不満	27%	55%	55%	36%

※今後、地元の意向状況等によっては他の地域にて実施するものとする。

No.10を区分Dのモデル候補地として進め、当該地域にて考えられる取組等を他の地域の参考とし反映していく。

ワークショップ等により移動実態等を把握した後、地域の暮らしを支える柔軟な交通サービスの構築に向け、地域・事業者・市の3者が担う役割と共に、サービスの持続可能性を整理していく。

1　これまでの検討経緯について

R3.2.1　公共交通不便地域における施策検討のモデル地区として緑区高津戸町を選定。
（第4回千葉市地域公共交通活性化協議会で承認）

R3.2.13　高津戸町内にて、アンケート調査の実施
（運行開始までの間に移動ニーズ、移動動向、需要の計3回実施）

R3.7.31　地元協議会設立（オブザーバー：交通政策課等）
地域の移動ニーズ等の把握・課題等について、話し合いを継続的に実施
（概ね1回/月）（R5.12.25時点 全21回開催）

R4.6.13　公共交通事業者説明会の開催

R4.10.12 第1回 千葉市地域公共交通部会
・社会実験に向けた事業者公募について承認

R4.12.20 第2回 千葉市地域公共交通部会
・社会実験の運行計画案について承認
（協議が調う）

R5.3.18　**「高津戸乗合タクシー」運行開始**

令和5年3月13日の出発式の様子

運行概要

① 運行期間　令和5年3月～令和6年3月末

② 対 象 者　高津戸乗合タクシーの事前利用登録をされた方

③ 運 行 日　毎週 月・金曜日　※年末年始(12/29～1/3)は運休します。

④ 運 行 便　午前2便(1往復) 午後2便(1往復) 計4便

⑤ 停 留 所　住宅地停留所 7箇所、施設停留所 6箇所

⑥ 運行方法　高津戸町内付近　⇔　あすみが丘周辺を運行

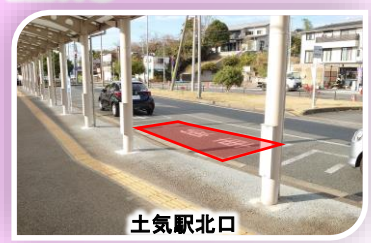
※ご利用には事前登録・予約が必要です。

⑦ 料　　金　1乗車あたり大人500円/便、小学生250円/便
★お得な回数券：24枚綴り(1枚250円　6,000円分)
販売額5,000円　※障がい者割引：250円/便

⑧ 乗車定員　最大8人／便

高津戸乗合タクシーの利用の様子

施設①



施設②

施設③

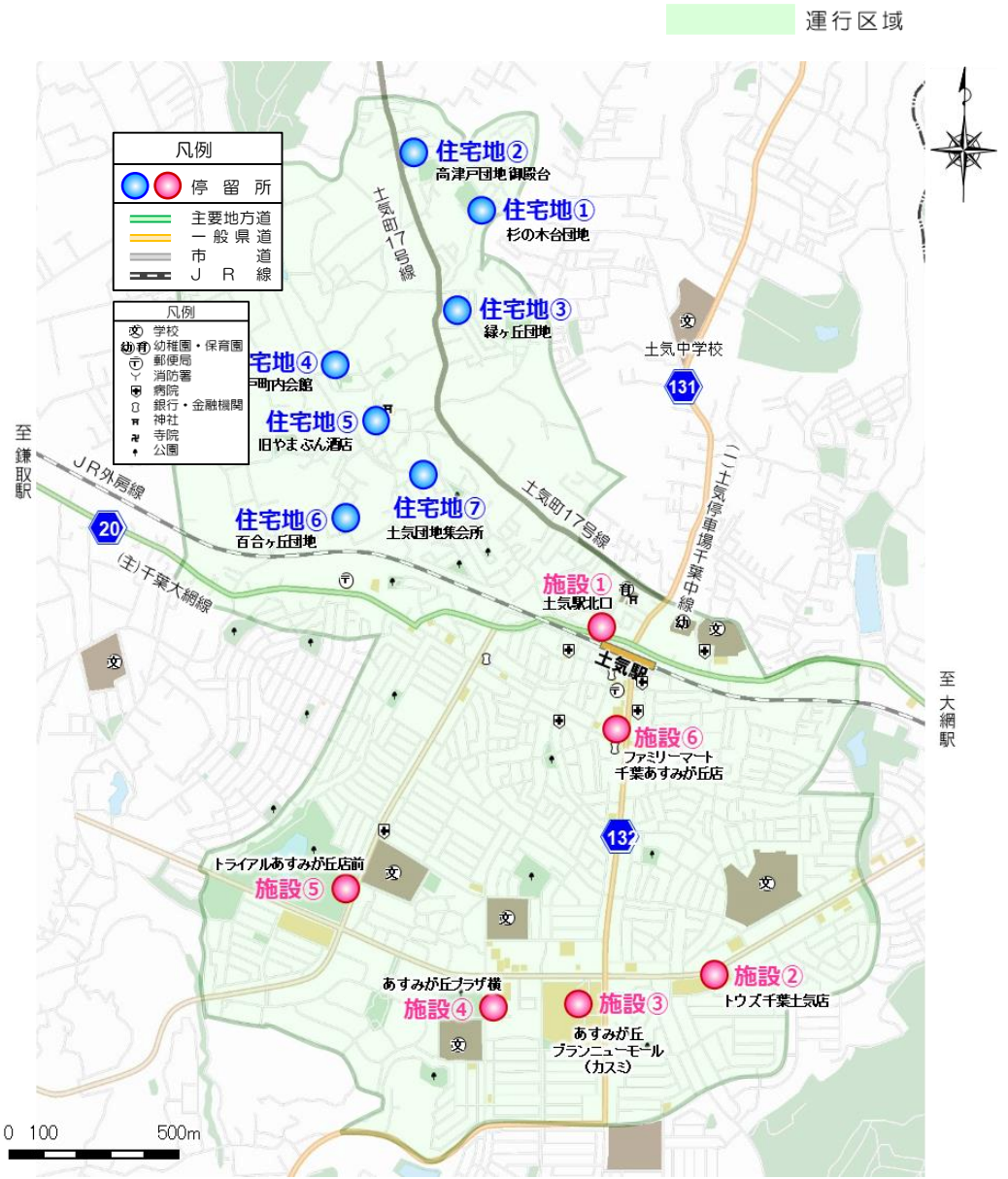
施設④

施設⑤

施設⑥

住宅地 ↔ 施設
住宅地 ↔ 住宅地　○利用可

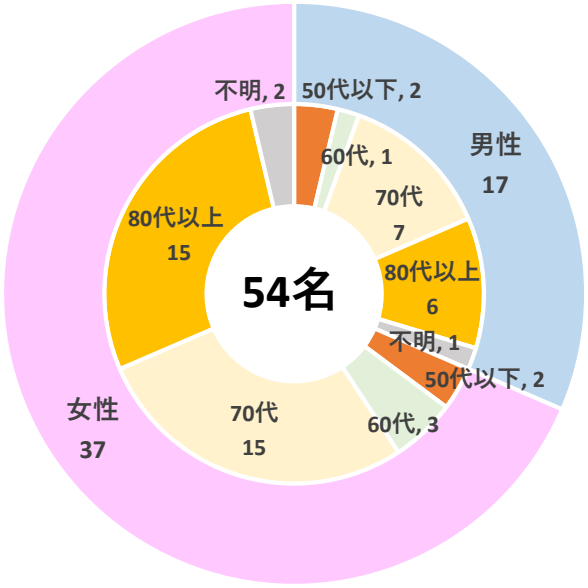
施設 ↔ 施設　×利用不可



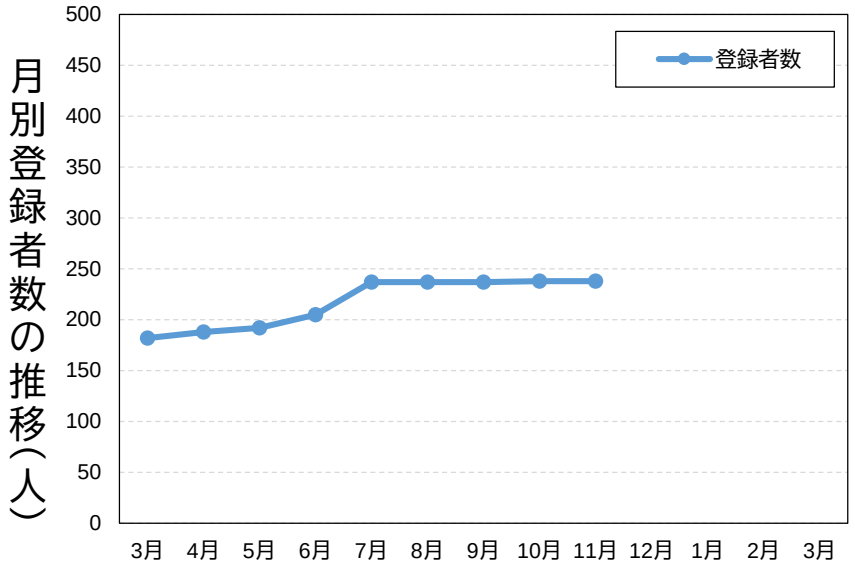
11月30日時点までの利用状況

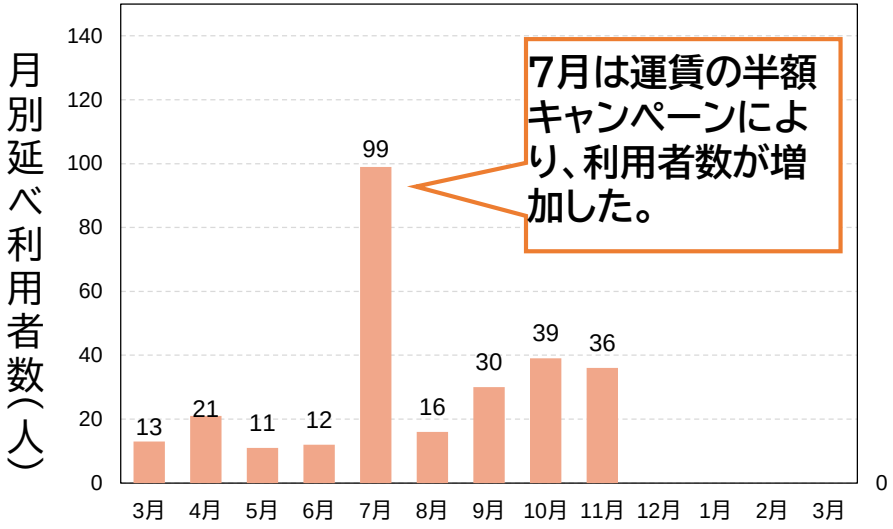
- 登録者数　　：238人
- 延べ利用者数：277人（54名）

※延べ利用者数のうち括弧内の人数は実際に利用した人の数。



実際に利用した人数（名）





7月は利用促進策の1つとして「運賃半額キャンペーン」を実施した。

〇運行概要
- ・開催期間　：　7月の運行日
- ・運賃　　：　イベント期間中往復で予約の方は帰り便無料
- ・定員　　：　16人/日（午前8人・午後8人）
- ・運行数　　：　通常ダイヤ（午前2便、午後2便）と同じ　計4便

7月

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

※帰り便の運賃は千葉市が負担

○運行計画の見直しについて

➢令和5年6月に高津戸町内全戸にアンケート調査を実施

➢主なアンケート結果

①当日予約ができるようにしてほしい。

②病院の時間にあわない。買い物に要する時間が長い又は短い。

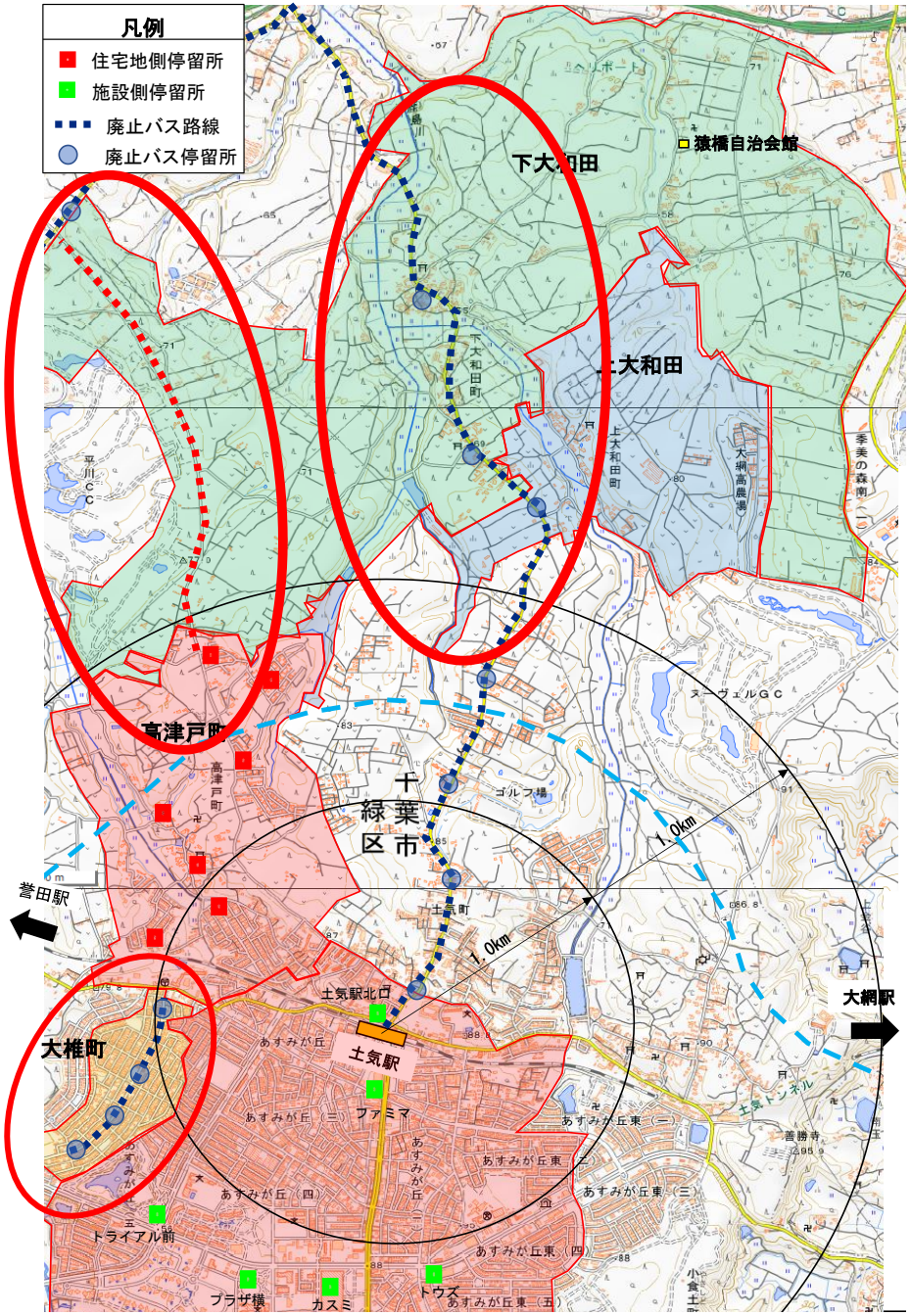
③起伏が激しい高津戸町内で帰りの荷物を持って帰るのが厳しい。

結果を踏まえて・・・　⇩　運行計画の見直しに着手

項目	現運行計画	変更運行計画検討案
①予約形式	前日17時までの予約	• 予約締切時間の再検討
②運行便数	午前2便、午後2便	• 運行便数増加の検討
③停留所位置	住宅地：7箇所 施設：6箇所	• 停留所の増設 • 施設停留所の位置変更

○近隣他地域について

- 上大和田町内会、下大和田町内会、猿橋自治会において、令和4年7月の千葉中央バス 千葉中線の廃止により、自動車を自由に運転できない方々などへの日常の移動手段の確保が問題となっている。
- 大椎町においても、千葉中央バス　千葉中線のが、令和5年10月に減便、令和6年3月31日に廃止が予定されており、同様に日常の移動手段の確保が問題となっている。
- それぞれの地区においては、現在、日常の外出に関するアンケート調査を実施しており、調査結果を踏まえて、今後、支え合い交通の導入について議論を進める。
- 高津戸町地区に近接しており、今後の利用者の確保も期待できることから、高津戸町交通対策協議会の場において、一緒に議論を進める。



○社会実験の継続について

➢利用状況は、7月のキャンペーン後、増加傾向
➢開始初年度の利用状況では、**本格運行への可否の判断が困難**

➢社会実験の1年継続を検討
・利便性を上げるための運行計画の見直し
・運行区域拡大による利用者の増加

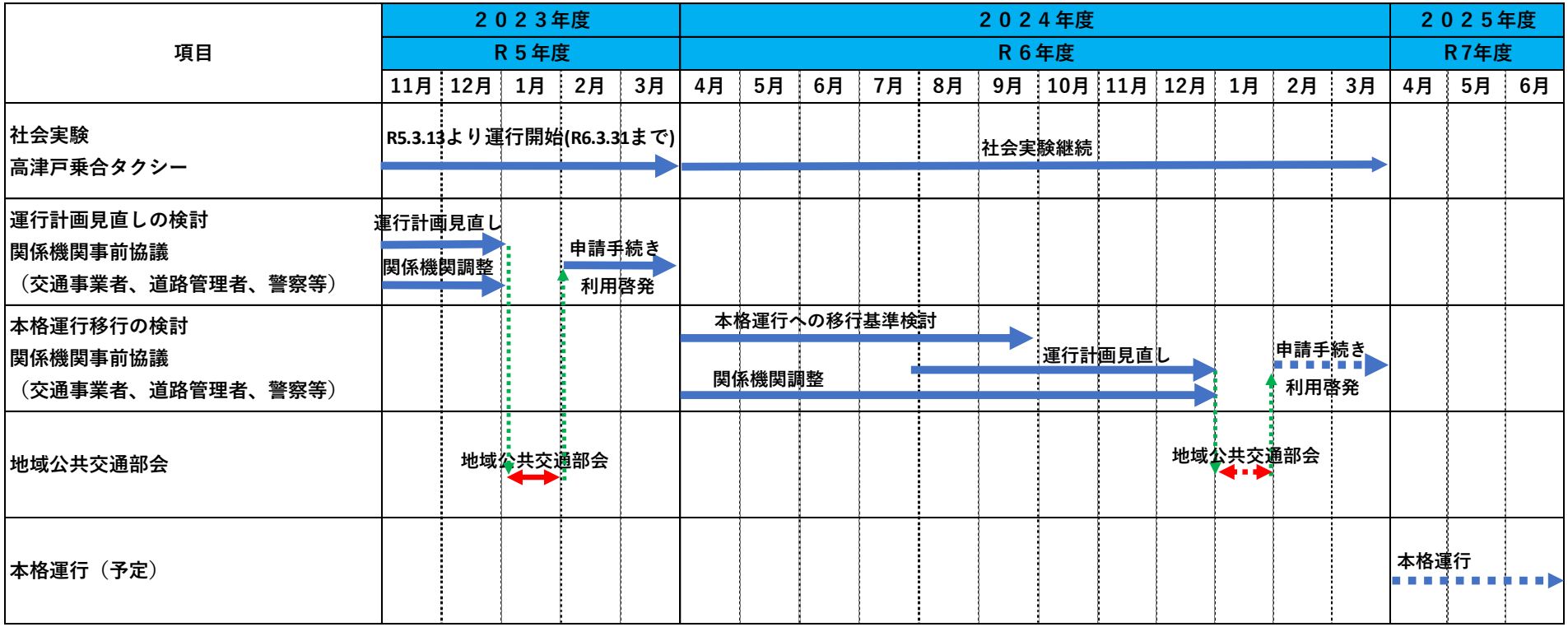
令和6年1月31日（水）　**地域公共交通部会開催（予定）**

令和6年4月1日～　**社会実験の継続（予定）**

※令和6年度の利用状況を見ながら、令和7年度以降の本格運行を検討。

今後のスケジュールについて(予定)

R5.12



※関係者との協議により変更となる可能性があります。